

株式会社 バイオベルデ



Preserve the Future

事業概要

当社は、プレベンチャー事業を通じて組織や臓器の保存効果を見出した緑茶由来ポリフェノール(EGCG)と、その後の研究活動で細胞の新規凍結保存剤として世界で初めて創製したカルボキシル化ポリリジン(不凍ポリアミノ酸)を基盤技術としています。現在、これらの基盤技術を応用し、再生医療領域、生体組織常温保存領域、幹細胞凍結保存領域、胚・受精卵凍結保存領域における保存剤の研究開発と製造販売を行っています。

技術・製品紹介・サービス紹介



クライオスカーレスDMSOフリーは、タンパク質やジメチルスルホキシド(DMSO)を含まない、各種細胞用の凍結保存液です。解凍後も様々な培養細胞で高い生存性を示し、幹細胞の多分化能(未分化状態)も維持されます。



ステムセルキープは、霊長類ES/iPS細胞のガラス化凍結保存に最適な組成を設計し、簡易な手法でより再現性良く高い生存率が得られる保存液です。しかも毒性の低い新規な凍結保存剤が添加されているため、DMSOやタンパク質を全く含みません。これにより安全で効率的な凍結保存が実現できます。



セリオキープは、ジメチルスルホキシド(DMSO)や血清タンパク質を含まない、上・内皮組織や神経組織の膜形態を頑健に維持すると共に、その増殖機能や電気伝導率を保持することのできる保存液です。



CryoScarless DMSO-Free /
クライオスカーレス DMSO フリー



StemCell Keep / ステムセルキープ



ThelioKeep / セリオキープ

会社概要

2003年10月、京都大学での研究開発課題「生体組織の常温長期保存液の創製」が、独立行政法人 科学技術振興機構(JST)のプレベンチャー事業に採択され、2年6ヶ月にわたり研究開発を実施しました。その後、研究を継承し事業化に向けてさらに開発を推し進めるため、2006年3月に新会社「株式会社バイオベルデ」を起業しました。

所在地 : 〒601-8023 京都市南区東九条南松ノ木町43番地1
URL : <https://www.bioverde.jp/>
TEL : 075-644-9009
FAX : 075-644-9009
代表者名 : 代表取締役社長 玄 優基



京都市ライフイノベーション創出支援センター (公益財団法人京都高度技術研究所)

【本所】
〒606-8507 京都市左京区聖護院河原町 54
京都大学附属病院先端医療機器開発・臨床研究センター 507号室
TEL : 075-950-0880 FAX : 075-950-0881

【支所】
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 36-1
京都大学国際科学イノベーション棟東館 209号室
TEL : 075-762-0070 FAX : 075-762-0071

HP : <http://www.astem.or.jp/lifeinov/> E-mail : [ikouyaku\[at\]astem.or.jp](mailto:ikouyaku[at]astem.or.jp)